

<b>文部科学省科学研究費</b>	基盤研究 C(2): 23592310(平成 23-26)
<b>研究課題名</b>	開頭手術における運動誘発電位モニタリングに関する検討
<b>研究代表者</b>	阿部龍一
<b>研究分担者</b>	川口昌彦、林 浩伸、井上聡己、中瀬裕之、古家 仁
<b>研究経費</b>	計 273 万円
<b>文部科学省科学研究費</b>	基盤研究 C(2):25462449(平成 25-28 年度)
<b>研究課題名</b>	心臓血管手術中におけるレーザースペックル法による眼血流測定と術後視機能障害の検討
<b>研究代表者</b>	林 浩伸
<b>研究分担者</b>	川口昌彦、井上聡己、野村泰充、吉谷健司、緒方 奈保子、谷口繁樹、松浦豊明、岡本全弘
<b>研究経費</b>	計 494 万円
<b>文部科学省科学研究費</b>	基盤研究 C(2):25460772(平成 25-28)
<b>研究課題名</b>	周術期医療のクオリティ・インディケーターとしての麻酔満足度尺度の開発
<b>研究代表者</b>	田中 優
<b>研究分担者</b>	川口昌彦、井上聡己
<b>研究経費</b>	計 507 万円
<b>文部科学省科学研究費</b>	基盤研究 C : 26462344(平成 26-28)
<b>研究課題名</b>	全身麻酔薬が糖尿病環境下にある癌細胞の増殖能に与える影響
<b>研究代表者</b>	瓦口至孝
<b>研究経費</b>	計 455 万円
<b>文部科学省科学研究費</b>	若手研究 B : 26861242(平成 26-28)
<b>研究課題名</b>	ミノサイクリンが発達段階の脳における全身麻酔薬の神経毒性を抑制できるか？
<b>研究代表者</b>	西和田 忠
<b>研究経費</b>	計 351 万円

文部科学省科学研究費 基盤研究 C : 26462763(平成 26 -29)  
研究課題名 脳蘇生におけるアミオダロン脳保護効果に関する研究  
研究代表者 井上聡己  
研究分担者 川口昌彦  
研究経費 計 390 万円

文部科学省科学研究費 基盤研究 C : 26462372(平成 26-28 年度)  
研究課題名 非眼科的手術後の眼合併症の発生状況とその誘因に関する検討  
研究代表者 川口昌彦  
研究分担者 松浦豊明、林 浩伸、井上聡己、緒方 奈保子、田中 優  
研究経費 計 455 万円

## 学生講義

川口昌彦	神経疾患の周術期管理	2014.5.1
渡邊恵介	ペインクリニック	2014.5.1
川口昌彦	麻酔について	2014.6.2
阿部龍一	気道管理	2014.6.2
松成泰典	術中モニタリング	2014.6.2
藤原亜紀	伝達麻酔	2014.6.5
北川和彦	全身麻酔	2014.6.9
田中 優	麻酔と統計	2014.6.10
瓦口至孝	小児麻酔・産科麻酔	2014.6.10
林 浩伸	脳神経疾患の麻酔	2014.6.12
安宅一晃	集中治療と急変対応	2014.6.12
四宮敏章	緩和医療	2014.6.16
西和田 忠	腎不全・肝不全の急性期管理	2014.7.17
井上聡己	呼吸不全の急性期管理	2014.9.3
井上聡己	多臓器不全の病態と治療	2014.9.3

## 院内講義

井上聡己	周術期管理勉強会	アナフィラキシーへの対応	2014.4.23
四宮敏章	周術期管理勉強会	緩和医療に必要な基礎知識	2014.5.13
阿部龍一	周術期管理勉強会	Difficult Airway Management	2014.5.19
川口昌彦	周術期管理勉強会	中心静脈カテーテルの安全管理	2014.5.29
熊野穂高	周術期管理勉強会	人工呼吸管理	2014.6.11
松成泰典	周術期管理勉強会	周術期の循環管理	2014.6.18
西和田 忠	周術期管理勉強会	分離肺換気の管理法	2014.6.25
瓦口至孝	周術期管理勉強会	小児麻酔における救急対応	2014.7.3
北川和彦	周術期管理勉強会	神経ブロックと局所麻酔薬中毒	2014.7.16
井上聡己	周術期管理勉強会	大量出血時の対応	2014.7.30
内藤祐介	周術期管理勉強会	経食道心エコーのルーチン手技	2014.8.6
川口昌彦	周術期管理勉強会	術後鎮痛とPCA	2014.8.21
渡邊恵介	周術期管理勉強会	痛みの機序と治療薬	2014.9.3
藤原亜紀	周術期管理勉強会	麻薬の使用法と副作用対策	2014.9.17
新城武明	周術期管理勉強会	周術期肺塞栓予防策	2014.10.1
井上聡己	周術期管理勉強会	ICUでの抗生剤の使い方	2014.10.15
瓦口至孝	周術期管理勉強会	産科麻酔のupdate	2014.11.5
松成泰典	周術期管理勉強会	輸血と止血凝固	2014.11.20
安宅一晃	周術期管理勉強会	急性腎不全と血液浄化法	2014.12.3
林 浩伸	周術期管理勉強会	人工心肺を考える	2014.12.17
野村泰充	周術期管理勉強会	救急患者の初期対応	2015.1.14

## インストラクター

### 安宅 一晃

- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 4 月出雲コース 2014.4.19-20 島根
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 5 月大阪コース 2014.5.10-11 大阪
- ・米国集中治療医学会第 10 回日本クリティカルケア看護学会学術集会コース 2014.5.23-24 愛知
- ・米国集中治療医学会第 5 回 FDM コース 2014.5.30 栃木
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 6 月東京コース 2014.6.7-8 東京
- ・米国集中治療医学会第 9 回 PFCCS コース 2014.6.14-15 大阪
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 6 月札幌コース 2014.6.28-29 北海道
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 6 月武蔵野コース 2014.6.28-29 東京
- ・米国集中治療医学会第 10 回 PFCCS コース 2014.8.2-3 東京

- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 8月大阪コース 2014.8.16-17 大阪
- ・米国集中治療医学会第19回 JSEPTIC-CTG 総会 2014.9.14 東京
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 8月相模原コース 2014.8.30-31 神奈川
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 9月東京コース 2014.9.14-15 東京
- ・特定行為に係る看護師 臨床薬理学講座 2014.9.27-28/2014.11.1-2
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 10月広島コース 2014.10.4-5 広島
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 10月鹿児島コース 2014.10.18-19 鹿児島
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 11月倉敷コース 2014.11.15-16 岡山
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 11月東京コース 2014.11.29-30 東京
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 12月大阪コース 2014.12.6-7 大阪
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 12月武蔵野コース 2014.12.20-21 東京
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 1月福島コース 2015.1.31-2.1 福島
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 2月福島コース 2015.2.14-15 宮城
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 2月相模原コース 2015.2.14-15 神奈川
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 3月津コース 2015.3.7-8 三重
- ・米国集中治療医学会 FCCS Japan 3月那覇コース 2015.3.14-15 沖縄

#### 瓦口 至孝

- ・小児二次救命処置 (PALS) アップデートコース 2104.6.21、京都
- ・小児二次救命処置 (PALS) プロバイダーコース 2104.10.5-6、大阪
- ・小児二次救命処置 (PALS) プロバイダーコース 2104.12.13-14、大阪

#### 野村 泰充

- ・インストラクター、JATEC 奈良コース

#### 院内委員 (H26.4.1-)

川口昌彦

麻酔科部長

ペインセンターセンター長

集中治療部部長

医療安全・質評価・教育対策プロジェクト長  
医療安全管理委員会委員長  
医療安全推進室室長（26.6.2 まで）  
大学院研究指導教員 博士課程（侵襲制御・生体管理医学）  
大学院研究指導教員 修士課程（侵襲制御・生体管理医学）  
大学院修士課程運営委員  
動物実験委員会委員  
輸血療法委員会副委員長  
呼吸サポートチーム(RST)チーム長  
医療ガス委員会委員長  
ハイブリット OP 室機種選定委員長  
病院運営協議会委員  
医療情報システム運営委員  
脳死判定委員  
臓器移植実行委員  
院内がん登録委員  
周術期管理センター長  
医療情報システム運営委員  
肺塞栓症・深部静脈血栓症予防対策専門部会委員  
IVR センター運営委員  
映像システム購入検討委員会委員長  
救急医療運営委員  
中央手術部運営委員  
医療ガス安全管理委員長

安宅一晃

医療安全推進室室長（26.6.2～）  
医療安全管理委員会委員長（26.6.2～）  
病院運営協議会委員（26.6.2～）  
肺塞栓症・深部静脈血栓症予防対策専門部会委員  
中央手術部運営委員  
メディカルバースセンター運営委員

四宮敏章（緩和ケアセンター）

緩和ケアセンターセンター長  
病院運営協議会

がん診療連携拠点病院運営検討委員

緩和ケアセンター運営委員長

緩和ケアセンター外来医長

井上聡己（集中治療部）

集中治療部副部長

集中治療部医局長

医療安全推進室副室長

大学院研究指導教員 博士課程（侵襲制御・生体管理医学）

大学院研究指導教員 修士課程（侵襲制御・生体管理医学）

呼吸サポートチーム(RST)メンバー

ICT 委員

電子カルテ委員

分析・対策検討チーム

集中治療部病棟医長

渡邊恵介（ペインセンター）

ペインセンター副センター長

ペインセンター医局長

保険(レセプト)対策委員会委員

診療情報管理委員

地域医療連携院内実務委員

保険担当医長

ペインセンター外来医長

北川和彦（麻酔科）

ニュースレター編集委員長

田中 優（中央手術部）

中央手術部医局長

リスクマネージャー

中央手術部連絡委員

電子カルテ委員副院長

手術・病病連携対策プロジェクト推進会議メンバー

医薬材料対策プロジェクト会議構成員

瓦口至孝（麻酔科）

麻酔科医局長

中央手術部副部長

ICT 委員（担当変更）

カルタヘナ法対象品管理責任者

大学院研究指導補助教員 博士課程（侵襲制御・生体管理医学）

大学院研究指導補助教員 修士課程（侵襲制御・生体管理医学）

中央手術部連絡委員委員長

ハイブリット OP 室機種選定委員

災害医療対策委員会ワーキンググループメンバー

医薬材料対策プロジェクト会議構成員（担当変更）

手術・病病連携対策プロジェクト推進会議メンバー

救急医療運営委員会ワーキンググループ会議メンバー

IVR センター連絡協議会委員

映像システム購入検討委員会副委員長

手術台・無影灯・シーリングペンダント購入検討委員会委員

肺塞栓症・深部静脈血栓症予防対策専門部会コアメンバー

松成泰典（中央手術部）

麻酔科副医局長

学生試験作成

Safety Net 委員

中央手術部連絡委員

臨床検査連絡委員会

阿部龍一（中央手術部）

ポリクリ担当

当直表担当

野村泰充（集中治療部）

N S T メンバー

リスクマネージャー

電子カルテ委員

栄養サポートチームメンバー

林 浩伸（麻酔科）

麻酔科外来医長

藤原亜紀（麻酔科）

麻酔科病棟医長

リスクマネージャー

西和田 忠（麻酔科）

輸血療法委員

新城武明（中央手術部）

電子カルテ委員

寺田雄紀（麻酔科学教室）

ICT 委員会

熱田 淳（麻酔科）

電子カルテ委員

## 院外委員会委員

古家 仁

日本麻酔科学会監事

日本心臓血管麻酔学会監事

日本蘇生学会監事

日本神経麻酔・集中治療研究会評議員

日本ペインクリニック学会評議員

日本静脈麻酔学会評議員

日本疼痛学会評議員

日本手術医学会評議員

日本麻酔医事法制研究会評議員

日本疼痛漢方研究会常任世話人

川口昌彦

日本麻酔科学会代議員

日本麻酔科学機関誌 Journal of Anesthesia, Section editor

日本麻酔科学会専門医筆記試験委員



日本麻酔科学会 麻酔全般ワーキンググループ委員  
日本臨床麻酔学会評議員  
日本心臓血管麻酔学会理事  
日本心臓血管麻酔学会学術委員（脳脊髄）  
日本蘇生学会評議員  
日本蘇生学会編集委員会委員  
日本神経麻酔・集中治療研究会事務局長  
日本脳神経モニタリング学会理事  
日本循環制御学会評議員  
日本麻酔科学会代議員  
日本麻酔科学会 Journal of Anesthesia Editorial Board Section Editour  
日本麻酔科学会 JA Clinical Report Editorial Board Section Editour  
日本麻酔科学会麻酔全般ワーキンググループメンバー  
日本麻酔科学会麻酔器始業点検改定ワーキンググループメンバー  
日本麻酔科学会関西支部運営委員会  
日本心臓血管麻酔学会常任理事

井上聡己

日本心臓血管麻酔学会学術委員会 非開心術委員  
日本心臓血管麻酔医専門医試験委員  
日本集中治療医学会評議員  
日本麻酔科学機関誌 Journal of Anesthesia, Associate Editorial Board Member

田中 優

EBM 麻酔研究会世話人  
日本集中治療学会 ARDS 作成委員アドバイザー  
京都大学大学院医学研究科健康情報学講師（文献評価法）  
日本集中治療学会 ARDS 作成委員ワークショップ講師

林 浩伸

第 20 回日本脳神経モニタリング学会事務局長

## 2014年業績

### <著書：欧文>

なし

### <著書：和文>

西村友美、川口昌彦. 麻酔科医のための周術期の疼痛管理. 高齢者の周術期疼痛管理(編集 川真田 樹人). 株式会社 中山書店 p172-178、2014

位田 みつる、川口昌彦. 神経麻酔 Q&A ーエビデンスに基づく最新の知識とテクニックー. 術前評価と周術期管理 心血管系合併症を有する患者の術前評価とリスク管理(編集：内野博之). 株式会社 総合医学社 p32-38、2014

林 浩伸、川口昌彦. 神経麻酔 Q&A ーエビデンスに基づく最新の知識とテクニックー. モニタリングによる脳・脊髄機能評価と治療への応用 誘発電位(編集：内野博之). 株式会社 総合医学社 p94-99、2014

吉村季恵、川口昌彦. 神経麻酔 Q&A ーエビデンスに基づく最新の知識とテクニックー. 脳腫瘍患者の麻酔管理 テント上腫瘍摘出術の麻酔管理(編集：内野博之). 株式会社 総合医学社 p156-162、2014

川口昌彦. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 序(編集：川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p3-4、2014

川口昌彦、中瀬裕之、位田 みつる. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 大動脈の解剖(編集：川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p56-59、2014

阿部龍一. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 全身麻酔の流れ(編集：川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p110-113、2014

内藤祐介. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 全身麻酔薬(編集：川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p114-117、2014

内藤祐介. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその

解釈. 筋弛緩薬(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p118-121、2014

林 浩伸. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 麻酔薬と神経モニタリング(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p133-136、2014

瓦口至孝. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 手術室での感染対策(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p137-139、2014

井上聡己. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 手術体位と注意点(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p140-144、2014

林 浩伸. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 覚醒下脳手術の麻酔(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p256-260、2014

阿部龍一. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 脊椎脊髄手術の麻酔(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p314-316、2014

蓮輪恭子、吉谷健司. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 弓部大動脈手術(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p317-322、2014

林 浩伸. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 胸部下行・胸腹部大動脈瘤手術(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p323-328、2014

蓮輪恭子、吉谷健司. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 大動脈ステント術(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p329-336、2014

田中 優. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. 基本統計(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p337-342、2014

田中 優. 術中神経モニタリングバイブル 術後神経合併症予防のための実践的手法とその解釈. モニタリングの臨床評価・研究に必要な統計指標(編集: 川口昌彦、中瀬裕之). 株式会社 羊土社 p 343-347、2014

(翻訳) 安宅一晃. 鎮静法ハンドブック. 中等度・深鎮静の安全な管理のために 鎮静に際しての看護師の役割(監訳: 飯島毅彦・上農喜朗). 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル p112-124、2014

林 浩伸、川口昌彦. 高齢者の周術期管理. 3. 高齢者各科手術の麻酔(編集: 澄川耕二). 克誠堂出版 株式会社 p175-183、2014

辻本雄大、犬童隆太、井上聡己. ICU でもくすりの使い方・考え方. 重症患者ケア 抗菌薬 (2) カルバペネム系とアミノグリコシド系～耐性菌産生を回避! やめどきを見極めよう! ～ 3(4)(特別編集: 道又元裕、岡元和文). 総合医学社 p719-728、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの診療 ベストプラクティス 脳脊髄液漏出症(監修: 小川節郎、牛田享宏). 株式会社 メディカルレビュー社 p132-133、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの Science&Practice 5. 痛み診療キーポイント B. 痛みの疾患、病態 17 脳脊髄液漏出症(編集: 川真田 樹人 シリーズ編集: 表 圭一、山本達郎、井関雅子、川真田 樹人). 株式会社 文光堂 p116-117、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの Science&Practice 5. 痛み診療キーポイント B. 痛みの疾患、病態 18 三叉神経・自律神経性頭痛(編集: 川真田 樹人 シリーズ編集: 表 圭一、山本達郎、井関雅子、川真田 樹人). 株式会社 文光堂 p118-119、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの Science&Practice 6. 神経ブロックに必要な画像解剖 VII. 交感神経系 3 腰部交感神経節ブロック(編集: 表 圭一 シリーズ編集: 表 圭一、山本達郎、井関雅子、川真田 樹人). 株式会社 文光堂 p246-247、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの Science&Practice 6. 神経ブロックに必要な画像解剖 【透視】 X 線透視ガイド下腰部交感神経節ブロック(編集: 表 圭一 シリーズ編集: 表 圭一、山本達郎、井関雅子、川真田 樹人). 株式会社 文光堂 p248-249、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの Science&Practice 6. 神経ブロックに必要な画像解剖 VII. 交感神経系 4 腹腔神経叢ブロック(編集: 表 圭一 シリーズ編集: 表 圭一、山本達郎、井関雅子、川真田 樹人). 株式会社 文光堂 p252-253、2014

渡邊恵介、橋爪圭司. 痛みの Science&Practice 6. 神経ブロックに必要な画像解剖【透視】  
X線透視ガイド下腹腔神経叢ブロック(編集：表 圭一 シリーズ編集：表 圭一、山本達  
郎、井関雅子、川真田 樹人). 株式会社 文光堂 p254-255、2014

<原著：欧文>

Junko Ushiroda, Satoki Inoue, Tadaaki Kirita, Masahiko Kawaguchi. A comparison of  
airway dimensions, measured by acoustic reflectometry and ultrasound before and after  
general anaesthesia. *Anaesthesia* 69(12) : 1355-63,2014

Junko Ushiroda, Satoki Inoue, Yuu Tanaka, Masahiko Kawaguchi. The effects of  
provision of anesthesia on one-year mortality in patients with severe complications.  
*Middle East journal of anaesthesiology* 22(6) : 597-602,2014

Nobuyasu Komasa, Shunsuke Fujiwara, Kazuaki Atagi, Ryusuke Ueki, Masanori  
Haba, Hironobu Ueshima, Yoshiroh Kaminoh, Toshiaki Minami. Effects of a simulation-  
based sedation training course on non-anesthesiologists' attitudes toward sedation and  
analgesia. *Journal of Anesthesia* 28(5) : 785-789, 2014

<原著：和文>

松成泰典、川西秀明、塩田 隆、古家 仁、川口昌彦. Rainbow Acoustic Monitoring を用い  
た呼吸数測定. *臨床麻酔* 38(9) : 1292-1299、2014

上田順宏、今井 裕一郎、後藤安宣、青木 久美子、山川延宏、井上聡己、山本一彦、川口昌  
彦、桐田忠昭. 遊離組織移植再建を行った進行口腔癌患者における術後の消化管機能に対す  
る大建中湯の臨床的効果. *日本口腔腫瘍学会誌* 26(2) : 37-44、2014

<総説その他：欧文>

Satoki Inoue, Yasumitsu Nomura, Masahiko Kawaguchi. Pneumoperitoneum in a  
patient with Larsen syndrome. *Journal of Anesthesia* 28(3) : 478, 2014

Yasumitsu Nomura, Yoshitaka Kawaraguchi, Hiroshi Sugimoto, Hitoshi Furuya,  
Masahiko Kawaguchi. Effects of morphine and fentanyl on 5-fluorouracil sensitivity in  
human colon cancer HCT116 cells. *Journal of Anesthesia* 28(2) : 298-301, 2014

Yuu Tanaka, Atushi Yoshimura, Kyoko Agawa, Dai Shida, Masahiko Kawaguchi. Use of

quality of recovery score (QoR40) in the assessment of postoperative recovery and evaluation of enhanced recovery after surgery protocols. *Journal of Anesthesia* 28(1) : 156-159, 2014

#### <総説その他：和文>

川口昌彦. 麻酔とチーム医療. *麻酔* 63(12) : 1299、2014

安宅一晃. 印象記第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. *臨床麻酔* 38(12) : 1748、2014

熱田 淳、渡邊恵介、藤原亜紀、北川和彦、篠原 こずえ、川口昌彦. 脊椎披裂を有する患者に対する S<sub>1</sub>神経根ブロックの経験. *ペインクリニック* 35(12) : 1675-1677、2014

井上聡己、川口昌彦. 麻酔薬の脳保護作用. *医学のあゆみ* 249(12) : 1254-1258、2014

位田 みつる、川口昌彦. 非心臓手術後の術後高次脳機能障害. *麻酔* 63(11) : 1228-1234、2014

安宅一晃、藤谷茂樹、中川雅史、児玉貴光. 術後急変患者に対する RRS の有用性と課題. *臨床麻酔* 38(9) : 1300-1306、2014

川西秀明、松成泰典、恵川淳二、塩田 隆、古家 仁、川口昌彦. Masimo 社製アコースティック呼吸数モニタリング装置 Rad-87™を用いた全身麻酔後の呼吸数モニタリングの導入. *日本臨床麻酔学会誌* 34(7) : 848-853、2014

林 浩伸、赤崎由佳、川口昌彦. 周術期神経系モニタリング-コツとピットフォール- 全身麻酔下における視覚誘発電位モニタリングの進歩. *日本臨床麻酔学会誌* 34(7) : 885-890、2014

岩崎 寛、鈴木健二、森崎 浩、川口昌彦. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会を語る. *臨床麻酔* 38(7) : 1039-1056、2014

重光胤明、安宅一晃. あれ？この人なんかおかしい！？-重症かどうかの観察-. *Emergency Care* 27(7) : 10-14、2014

安宅一晃. RRS と PACU 術後急変に備えるセーフティネットの必要性. 看護管理 24(6) : 570、2014

安宅一晃. RRS のさらなる普及と定着を願って. 看護管理 24(6) : 571-572、2014

安宅一晃. 院内急変対応システムの効果的導入と運用 チーム回診を患者スクリーニングとスタッフ教育の場として活用する. 看護管理 24(6) : 543-547、2014

安宅一晃. 病院機能評価と RRS 医療安全システムとしての確立に向けて RRS への評価に期待. 看護管理 24(6) : 572、2014

駒澤伸泰、安宅一晃、上嶋浩順、藤原俊介、植木隆介、羽場政法、上農喜朗. 非麻酔科医を対象とした SED 実践セミナー (セデーショントレーニングコース) の展開ー学習目標の作成を含めてー. 麻酔 63(5) : 582-585、2014

南口真実、田中 優、北川和彦、井上聡己、川口昌彦、桐田忠昭. 術後咽頭痛に影響を与える因子についての検討. 麻酔 63(4) : 401-405、2014

杉本浩士、松成泰典、川西秀明、萱島道德、川口昌彦、古家 仁. 奈良県立医科大学附属病院における麻酔アシスタントの活動. 日本臨床麻酔学会誌 34(4) : 531-537、2014

羽場政法、駒澤伸泰、藤原俊介、讃岐拓郎、安宅一晃、上農喜朗. 安全な鎮静・鎮痛法の講習会の改良に向けてープレテスト・ポストテストによる習熟度評価の導入ー. 日本臨床麻酔学会誌 34(4) : 583-587、2014

川口昌彦. Harder you work, Luckier you get. Anet 18(3) : 1、2014

安宅一晃. デクスメトミジンと鎮静 非麻酔科医に向けた鎮静教育の重要性 鎮静・鎮痛のプロとして指導者的かかわりを. LISA 21(3) : 236-239、2014

安宅一晃. 新任医療安全対策室長のお仕事 医療安全のお仕事って何?. 病院安全教育 2(3) : 42-44、2014

讃岐拓郎、杉岡伸悟、小谷 順一郎、瀬尾憲司、駒澤伸泰、安宅一晃. 歯科医師を対象としたセデーショントレーニングコースの開発と課題. 日本臨床麻酔学会誌 34(2) : 259-263、2014

上嶋浩順、森本康裕、安宅一晃、駒澤伸康、有山 淳、北村 晶. 神経ブロック中の鎮静を対象としたコース開発と課題. 日本臨床麻酔学会誌 34(2) : 264-268、2014

駒澤伸泰、藤原俊介、植木隆介、上嶋浩順、安宅一晃、上農喜朗. 各領域における鎮静の医療安全にセデーショントレーニングコースが貢献するには. 日本臨床麻酔学会誌 34(2) : 281-285、2014

安宅一晃. チーム医療最前線 呼吸ケアと RRT(rapid response team) (Theme 1)RRS とは. 呼吸器ケア 12(2) : 164-169、2014

川口昌彦、林 浩伸、阿部龍一. 術中運動機能モニターを成功させるコツ. 日本臨床麻酔学会誌 34(1) : 106-116、2014

新城武明、川口昌彦. 質疑応答. 臨床麻酔 38(1) : 74-76、2014

位田 みつる、田中 優、河野安宣、井上聡己、古家 仁、川口昌彦. 中心静脈カテーテル挿入時に要した穿刺回数と関連因子についての検討. 麻酔 63(1) : 62-67、2014

八反丸 善康、渡邊恵介、藤原亜紀、篠原 こずえ、若山 寛、橋爪圭司. 特発性脳脊髄液漏出症に対する経椎間孔的硬膜外自家血パッチの経験. 日本ペインクリニック学会誌 21(1) : 35-39、2014

安宅一晃. 痛み : 頭痛・胸痛を中心としたアセスメントとドクターコール. 救急看護トリアージのスキル強化 4(1) : 14-19、2014

中川雅史、安宅一晃. 「鎮静ガイドライン」の動向. 患者安全推進ジャーナル 36 : 68-70、2014

田中 優、内藤祐介、井上聡己、川口昌彦. 周術期のクオリティーインディケーターとしての回復の質と麻酔満足度. 近畿麻酔科医界 61 : 6-10、2014

#### <国際学会発表 : 特別講演>

Masahiko Kawaguchi. Evoked Potential Monitoring in the Operating Room: What's New?. 15th National Conference of Indian Society of Neuroanaesthesiology and Critical Care, 2014.1.31, Jaipur



## <国内学会発表：特別講演>

四宮敏章. 緩和ケア領域における疼痛管理について. アセリオ静注液発売1周年記念セミナー、2014.12.18、奈良

川口昌彦. 周術期神経合併症の現状と対策. 京都バイタルサインセミナー”最新技術とその理解”、2014.12.6、京都

安宅一晃. 第43回セデーショントレーニングコース. 日本臨床麻酔学会第34回大会（日本医学シミュレーション学会共催ワークショップ・セミナー）、2014.11.2、東京

安宅一晃. JAMS 教育セミナー MET コース. 日本臨床麻酔学会第34回大会（日本医学シミュレーション学会共催ワークショップ・セミナー）、2014.11.2、東京

安宅一晃. 第43回セデーショントレーニング指導者育成コース. 日本臨床麻酔学会第34回大会（日本医学シミュレーション学会共催ワークショップ・セミナー）、2014.11.1、東京

井上聡己. ランジオロール：周術期使用から心機能低下例への展開. 学術講演会、2014.10.29、横浜

井上聡己. ランジオロール：周術期使用から心機能低下例への展開. 第32回 CVIT 東海北陸地方会コーヒーブレイク 4、2014.10.11、福井

井上聡己. 特殊な心筋症. 日本心臓血管麻酔学会第19回学術大会、2014.9.22、大阪

川口昌彦. 術中神経モニタリングの最近の動向. 日本心臓血管麻酔学会第19回学術大会、2014.9.20、大阪

渡邊恵介. 神経ブロックによるペインクリニック治療. 第26回青丹よし IVR 倶楽部、2014.9.13、奈良

安宅一晃. RRS とノンテクニカルスキル. 2014 National SUN、2014.9.6、東京

渡邊恵介. 抗てんかん薬の使い方と注意点. 日本ペインクリニック学会、第48回大会リフレッシャーコース、2014.7.24、東京

安宅一晃. RRS の現状と問題点. 第28回日本小児救急医学会学術集会、2014.6.7、横浜

安宅一晃. 医療安全における RRS. 第 1 回島根地域臨床教育フォーラム、2014.4.19、島根

四宮敏章. 難病患者に対してどのように向き合うか. 難病患者在宅療養支援者メンタルヘルス研修会、2014.3.3、奈良

安宅一晃、平岡栄治、則末泰博、内藤貴基、津久田 純平. M&M : シミュレーションの臨床現場への対応. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

四宮敏章. サイコオンコロジーがん患者と家族のこころのケア. 第 14 回医療でつなぐ地域連携ネットワーク、2014.2.15、大阪

川口昌彦. 周術期神経合併症とその予防策. 第 26 回日本老年麻酔学会、2014.2.8、東京

井上聡己. オノアクト : 周術期使用から心機能低下例への展開. 南大阪 Cardiovascular Seminar 2014、2014.1.31、大阪

川口昌彦. 周術期神経合併症とその予防策その予防. 長崎麻酔研究会第 10 回学術集会、2014.1.25、長崎

#### <国際学会発表 : シンポジウム>

なし

#### <国内学会発表 : シンポジウム>

川口昌彦. 術中神経モニタリングにおける麻酔管理とその問題点. 第 44 回日本臨床神経生理学会学術大会、2014.11.21、福岡

安宅一晃. RRS(Rapid Response System)オンライン登録の現状と問題点. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.1、東京

川口昌彦、野村 実. 術中の近赤外線脳酸素モニター使用の現状. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.1、東京

田中 優、吉谷健司、川口昌彦. 胸腹部大動脈瘤に対する開腹手術に対しての運動誘発電位

(MEP)モニタリングの術後下肢麻痺の診断特性の研究に対して. 日本心臓血管麻酔学会第19回学術大会、2014.9.21、大阪

橋爪圭司、渡邊恵介. 四肢の神経障害性疼痛に対するに神経ブロック治療. 日本ペインクリニック学会第48回大会、2014.7.26、東京

井上聡己、川口昌彦. 術後の疼痛管理チームの現状とその問題点. 日本ペインクリニック学会第48回大会、2014.7.25、東京

西村文彦、弘中康雄、新 靖史、朴 永銖、本山 靖、中川一郎、田村 健太郎、松田良介、竹島靖浩、中瀬裕之、川口昌彦、林 浩伸、高谷恒範. 内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍摘出術における視機能温存を目的とした術中 VEP モニタリング. 第20回日本脳神経モニタリング学会、2014.7.12、東京

有元秀樹、重光胤明、林下浩士、嶋岡英輝、安宅一晃、宮原聡子、川口 なぎさ、木村千穂、松村京子、松下千紘. Rapid Response System と研修医教育の場合. 第17回日本臨床救急医学会総会・学術集会、2014.6.1、東京

安宅一晃. Rapid Response System : RRS -あなたの施設ではどう? 当施設での RRS 運用とその後の経過. 第10回日本クリティカルケア看護学会学術集会、2014.5.25、名古屋

川口昌彦. 広報委員会: 麻酔科に必要な技術・技能と臨床診療における諸問題 抗凝固療法中の患者の麻酔計画. 日本麻酔科学会第61回学術集会、2014.5.16、横浜

渡邊恵介. X線透視下の硬膜外ブロック (脊髄刺激)・関節ブロック. 第4回神経ブロック手技シンポジウム、2014.1.25、大阪

#### <国際学会発表：一般演題>

Aki Fujiwara, Keisuke Watanabe, Keiji Hashizume, Kazuhiko Kitagawa, Jun Atsuta, Kozue Shinohara, Masahiko Kawaguchi. TRANSFORAMINAL EPIDURAL BLOOD PATCH FOR INTRACTABLE SPONTANEOUS CEREBROSPINAL FLUIDLEAK. American Society of Regional anesthesia and Pain Medicine Meeting, 2014.11.13-15, San Francisco

Kie Yoshimura, Mitsuru Ida, Yuu Tanaka, Hironobu Hayashi, Masahiko Kawaguchi. Systematic Review of Motor Evoked Potentials Monitoring with Transcranial and Direct

Motor Cortex Stimulation in Patients Undergoing Intracranial Aneurysm Surgery. American Society of Anesthesiologists 2014 Annual Meeting, 2014.10.15, New Orleans

Yuka Akasaki, Hironobu Hayashi, Masahiko Kawaguchi. Evaluation of Feasibility and Reliability of Intraoperative Visual Evoked Potential Monitoring During Craniotomy. American Society of Anesthesiologists 2014 Annual Meeting, 2014.10.15, New Orleans

Junji Egawa, Jan M. Shilling, Edmund Posadas, Chitra D. Mandyam, Piyush M. Patel, Brian P. Head. Neuron-Targeted Caveolin-1 Remodels Hippocampal Neurons and Enhances Hippocampal Plasticity and Cognition. American Society of Anesthesiologists 2014 Annual Meeting, 2014.10.14, New Orleans

Junji Egawa, Weihua Cui, Edmund Posadas, Jan M. Shilling, Piyush M. Patel, Brian P. Head. Neuron-Targeted Caveolin-1 Attenuates Traumatic Brain Injury-Mediated Motor and Cognitive Deficits. American Society of Anesthesiologists 2014 Annual Meeting, 2014.10.13, New Orleans

Hironobu Hayashi, Masahiro Okamoto, Hideaki Kawanishi, Toyoaki Matsuura, Masahiko Kawaguchi. The Association Between Ocular Blood Flow Measured by Laser Speckle Flowgraphy During Aortic Arch Surgery With Selective Cerebral Perfusion and Postoperative Cerebral Complication. American Society of Anesthesiologists 2014 Annual Meeting, 2014.10.13, New Orleans

Yasunori Matsunari, Masaaki Doi, Hideto Matsui, Masahiko Kawaguchi, Mitsuhiko Sugimoto. Functional link between immobilized tissue factor and von Willebrand factor in mural thrombus formation under high shear rate conditions. The 8<sup>th</sup> CONGRESS OF ASIA PACIFIC SOCIETY OF THROMBOSIS AND HEMOSTASIS -2014, 2014.10.11, Hanoi

Kie Yoshimura, Mitsuru Ida, Yuu Tanaka, Hironobu Hayashi, Masahiko Kawaguchi. Systematic Review of Motor Evoked Potentials Monitoring with Transcranial and Direct Motor Cortex Stimulation in Patients Undergoing Intracranial Aneurysm Surgery. The 42<sup>th</sup> Annual Meeting of Neurosurgical Anesthesia and Critical Care 2014, 2014.10.9-10, New Orleans

Junji Egawa, Jan M. Shilling, Edmund Posadas, Chitra D. Mandyam, Piyush M. Patel, Brian P. Head. Neuron-Targeted Caveolin-1 Remodels Hippocampal Neurons and Enhances Hippocampal Plasticity and Cognition. The 42th Annual Meeting of Neurosurgical Anesthesia and Critical Care 2014, 2014.10.9-10, New Orleans

Hironobu Hayashi, Masahiro Okamoto, Hideaki Kawanishi, Toyooki Matsuura, Masahiko Kawaguchi. The Association Between Ocular Blood Flow Measured by Laser Speckle Flowgraphy During Aortic Arch Surgery With Selective Cerebral Perfusion and Postoperative Cerebral Complication. The 42th Annual Meeting of Neurosurgical Anesthesia and Critical Care 2014, 2014.10.9-10, New Orleans

Yuka Akasaki, Hironobu Hayashi, Masahiko Kawaguchi. Evaluation of Feasibility and Reliability of Intraoperative Visual Evoked Potential Monitoring During Craniotomy. The 42th Annual Meeting of Neurosurgical Anesthesia and Critical Care 2014, 2014.10.9-10, New Orleans

#### <国内学会発表：一般演題>

野村泰充、安宅一晃、永田明恵、井上聡己、古家 仁、川口昌彦. 当院における院内心肺停止の現状についての検討. 日本蘇生学会第 33 回大会、2014.12.5、浜松

川西秀明、松成泰典、塩田 隆、小西康司、萱島道徳、田中 優、古家 仁、川口昌彦. 当院における術後呼吸数モニタリング施行の現状と問題点. 第 9 回医療の質・安全学会学術集会、2014.11.23、千葉

小西康司、川西秀明、塩田 隆、岩下裕一、萱島道徳、田中麻里、石川 しのぶ、松成泰典、古家 仁、川口昌彦. Safety Net での呼吸数モニタリングによる安全性向上への取り組み. 第 9 回医療の質・安全学会学術集会、2014.11.23、千葉

藤原紳祐、藤谷茂樹、小池朋孝、森安恵美、安宅一晃、中川雅史、児玉貴光. 院内心肺停止症例の Retrospective data collection 研究. 第 9 回医療の質・安全学会学術集会、2014.11.22-24、千葉

林 浩伸. 胸部大動脈手術中に Laser Speckle Flowgraphy を用いて測定した視神経乳頭と

脈絡膜の血流変化の検討. 第 5 回眼科レーザースペックル研究会、2014.11.8、東京

内藤祐介、岩田敏男、藤本祐子、佐々岡 紀之、井上聡己、川口昌彦. 麻酔中の T E B 法により心拍出量と APCO 心拍出量の相関に関する検討. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.3、東京

川西秀明、松成泰典、小西康司、塩田 隆、川口昌彦. 当院における Masimo®Patient SafetyNet システム構築後の現状. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.3、東京

田中 優、内藤祐介、井上聡己、川口昌彦. Postoperative quality of recovery score:the QoR15 日本語版の妥当性・信頼性の検討-パイロット研究. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.3、東京

川西秀明、林 浩伸、岡本全弘、松浦豊明、川口昌彦. 弓部大動脈人工血管置換術中における眼底血流と眼動脈血流速度の関連性の検討. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.1、東京

松成泰典、北口勝康、川口昌彦. 全身麻酔後に発生した肺胞出血の 1 症例. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会、2014.11.1、東京

奥村将年、安宅一晃、宇城敦司、大塚康義、和田 翔、嶋岡英輝. ICU 緊急入室患者におけるせん妄の発生と持続鎮静・鎮痛薬との関係. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会、2014.10.30、福岡

安宅一晃、有元秀樹、重光胤明、奥村将年、梅井菜央. 院内救急の取り組み. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会、2014.10.29、福岡

藤谷茂樹、藤原紳祐、児玉貴光、津久田 純平、榎川紗理、安宅一晃. 大学病院と一般病院での RRS の検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会、2014.10.29、福岡

藤原紳祐、藤谷茂樹、小池朋孝、森安恵美、児玉貴光、安宅一晃. 多施設後向き院内心肺停止症例の検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会、2014.10.29、福岡

新城武明、林 浩伸、寺田雄紀、松成泰典、瓦口至孝、川口昌彦. 脊髄係留解除手術中に球海綿体反射モニタリングを施行した 9 症例の検討. 日本小児麻酔学会第 20 回大会、2014.9.23、札幌

寺田雄紀、井上聡己、内藤祐介、野村泰充、瓦口至孝、川口昌彦. 産褥7日に周産期心筋症による急速な心肺機能不全を呈した1例. 日本心臓血管麻酔学会第19回学術大会、2014.9.21、大阪

小西康司、川西秀明、塩田 隆、岩下裕一、萱島道徳、田中麻理、石川 しのぶ、古家 仁、川口昌彦. Safety Net での呼吸数モニタリングによる安全性向上への取り組み. 第1回日本医療安全学会学術総会、2014.9.21、東京

林 浩伸. 側臥位での覚醒下脳手術中における麻酔再導入時の気道確保法の検討. 第12回日本 awake surgery 学会、2014.9.11、神奈川

林 浩伸、高谷恒範、山本 さよみ. 視覚誘発電位・聴性脳幹反応. 第4回奈良術中神経モニター講習会、2014.8.23、大阪

阿部龍一. 大血管手術での運動誘発電位モニタリング. 第4回奈良術中神経モニター講習会、2014.8.23、大阪

林 浩伸. 視覚誘発電位モニタリングの実際. 第4回奈良術中神経モニター講習会、2014.8.23、大阪

川口昌彦. モニタリングの麻酔. 第1回関西脳脊髄電気生理セミナー モニタリングセミナー、2014.8.16、大阪

西村友美. 麻酔科術前診察ーこんな点に注意していますー. 奈良周術期管理セミナー、2014.8.9、大阪

瓦口至孝. 周術期肺塞栓症はこんなに怖い！ー予防と発症時対応の基礎知識ー. 奈良周術期管理セミナー、2014.8.9、大阪

熱田 淳、渡邊恵介、藤原亜紀、若山 寛、篠原 こずえ、橋爪圭司、川口昌彦. 脳脊髄液漏出症に対する dynamic myelography を用いた漏出点検出の試み. 日本ペインクリニック学会第48回大会、2014.7.25、東京

藤原亜紀、渡邊恵介、橋爪圭司、若山 寛、熱田 淳、川口昌彦. 経椎間孔的硬膜外自家血パッチの経験. 日本ペインクリニック学会第48回大会、2014.7.25、東京

寺田雄紀、竹内宗之、橘 一也、清水義之、山下智範、西垣五月、木内恵子. 乳児早期からの原疾患不明の進行性間質性肺炎に対し厳密な肺保護換気で肺傷害の進行を防いだ一症例. 第 36 回日本呼吸療法医学会学術総会、2014.7.20、秋田

川口昌彦. 術後視機能異常. 東京麻酔専門医会、2014.7.13、東京

寺本佳菜、小川哲平、辻本雄大、犬童隆太、松葉晃平、高木 美由紀、西浦聡子、井上聡己. 人工呼吸管理患者への鎮痛・鎮静プロトコル導入過程における医療者の鎮静鎮痛管理に対する認識への影響. 第 59 回日本集中治療医学会近畿地方会、2014.7.12、大阪

永田明恵、西浦聡子、内藤祐介、安宅一晃、井上聡己、川口昌彦. 当院 ICU における人工呼吸管理の現状と再挿管関連因子の検討. 第 59 回日本集中治療医学会近畿地方会、2014.7.12、大阪

松浦秀記、井上聡己、野村泰充、西和田 忠、安宅一晃、川口昌彦. アスペルギルス菌塊塞栓による気管支チェックバブルを生じたと考えられる症例. 第 59 回日本集中治療医学会近畿地方会、2014.7.12、大阪

高谷恒範、山本 さよみ、吉田秀子、西田幸世、水野麗子、山崎正晴、本山 靖、中瀬裕之、林 浩伸、川口昌彦. 当院手術室における術中神経機能モニタリングチーム医療における技師の関わり. 第 20 回日本脳神経モニタリング学会、2014.7.12、東京

眞弓 あずさ、竹内宗之、橘 一也、木水友一、水口壮一、重川 周、堀口 佑、寺田雄紀、山下智範、文 一恵、津田 雅世、簗智武志、清水義之、木内恵子. 肺炎を契機に **status dystonicus** を発症し、長期人工呼吸管理が必要であった一症例. 第 59 回日本集中治療医学会近畿地方会、2014.7.12、大阪

田原一樹、山崎正晴、四宮敏章、上田 昇太郎、伊豆原 知恵、梅岡京子、小林慎治、厚坊浩史. がん疼痛に対する強オピオイド導入に影響する要因の分析. 第 19 回日本緩和医療学会学術大会、2014.6.20、神戸

橋爪圭司、渡邊恵介. 脊椎 3D-CT が診断に有用であった頸髄症術後の上肢痛. 第 44 回日本ペインクリニック学会関西支部学術集会、2014.6.7、大阪

熱田 淳、渡邊恵介、藤原亜紀、北川和彦、川口昌彦. 脊椎披裂を有する患者に対する S1 神



経根ブロックの経験. 第 44 回日本ペインクリニック学会関西支部学術集会、2014.6.7、大阪

松成泰典、土井政明、松井英人、西尾健治、古家 仁、川口昌彦、松本充彦.von Willebrand 因子上での壁血栓形成における可溶性および固相化組織因子の血流依存性機能. 第 36 回日本血栓止血学会学術集会、2014.5.31、大阪

川西秀明、田中 優、塩田 隆、松成泰典、古家 仁、川口昌彦. アコースティック呼吸数モニタを用いた術後呼吸数変動と低酸素血症の関連性についての検討. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.16、横浜

田中 優、北村 絢、内藤祐介、井上聡己、川口昌彦. Postoperative quality of recovery score:the QoR15 日本語版の妥当性・信頼性の検討-パイロット研究. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.16、横浜

松成泰典、瓦口至孝、新城武明、下田孝司、川口昌彦. 小児先天性心疾患患者において体循環中の局所酸素飽和度 (rSO<sub>2</sub>) は頭部と体部で解離する. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.16、横浜

内藤祐介、岩田敏男、藤本祐子、佐々岡 紀之、田中 優、川口昌彦. 日本語版 PQRS の実施可能性、信頼性、妥当性の検討. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.16、横浜

赤崎由佳、田中 優、大井彩子、瓦口至孝、井上聡己、川口昌彦. 当院における帝王切開手術後の硬膜穿刺後頭痛の現状調査 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.16、横浜

後田絢子、井上聡己、西村友美、岡本亜紀、川口昌彦. 周術期の口腔・咽頭組織容積の変化. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.15、横浜

植村景子、井上聡己、西和田 忠、野村泰充、田中 優、川口昌彦. 麻酔時に確保された中心静脈ラインは本当に必要であったかの検討. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.15、横浜

野村泰充、林 浩伸、赤崎由佳、田中 優、川口昌彦. 当院における脊椎脊髄手術中の運動誘発電位モニタリングについての検討. 第 18 回日本神経麻酔・集中治療研究会、2014.4.19、沖縄

新城武明、林 浩伸、田中 優、井上聡己、高谷恒範、川口昌彦. 脊髄係留解除手術中に球海綿体反射モニタリングを施行した 6 症例の検討. 第 18 回日本神経麻酔・集中治療研究会、2014.4.19、沖縄

林 浩伸、植村景子、井上聡己、川口昌彦. 当院における Awake craniotomy 麻酔管理の現状と今後の課題. 第 18 回日本神経麻酔・集中治療研究会、2014.4.19、沖縄

大塚康義、飯田 康、奥村将年、和田 翔、宇城武明、安宅一晃、嶋岡英輝. 先天性異所性接合部頻拍に対し体外式補助循環 (VA-ECMO) を導入し救命した 2 症例. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.3.31、京都

井上聡己. ICU におけるランジオロールの使用経験. 第 21 回奈良県医師会麻酔部会学術講演会、2014.3.8、奈良

赤崎由佳. 当院帝王切開分娩時の出血に関する現状調査. 第 21 回奈良県医師会麻酔部会学術講演会、2014.3.8、奈良

内藤祐介. 麻酔中の TEB 法による心拍出量と APCO 心拍出量の相関に関する検討. 第 21 回奈良県医師会麻酔部会学術講演会、2014.3.8、奈良

宇城敦司、大塚康義、安宅一晃、奥村将年、和田 翔、朱田博聖、嶋岡英輝、飯田 康. 尿素サイクル異常による高アンモニア血症の検討. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.3.1、京都

野村泰充、井上聡己、恵川淳二、野村泰充、西和田 忠、新城武明、瓦口至孝、北川和彦、川口昌彦. 換気困難から縦隔気腫、皮下気腫さらに腹腔内遊離ガスにまで発展した症例. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

永田明恵、古賀 麻衣子、山室俊雄、小川哲平、井上聡己、川口昌彦. 呼吸サポートチームのチェックリストを用いた一般病棟の人工呼吸管理の現状評価. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

飯田 康、安宅一晃、朱田博聖、大川惇平、菅 彩子、奥村将年、和田 翔、大塚康義、宇城敦司、嶋岡英輝. アトピー性皮膚炎と未分化大細胞リンパ腫を基礎疾患にもつ中毒性ショック症候群の一症例. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

奥村将年、安宅一晃、宇城敦司、大塚康義、和田 翔、朱田博聖、飯田 康、嶋岡英輝. 脳神経外科術後における高乳酸血症に影響を及ぼす因子の検討. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

和田 翔、飯田 康、朱田博聖、奥村将年、大塚康義、宇城敦司、安宅一晃、嶋岡英輝. 小児心臓血管外科術後における pediatric RIFLE criteria を用いた腎機能障害の評価と検討. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

小濱華子、駒澤伸泰、植木隆介、安宅一晃、上農喜朗、西 信一. 乳児心肺蘇生中の気道確保における挿管用声門上デバイス air-Q,aura-Li-gel の比較検討—マネキンスタディ. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

椿 康輔、井上聡己、恵川淳二、野村泰充、西和田 忠、川口昌彦. 診断に難渋した脳外科術後肺水腫症例. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.27、京都

古川力丸、中川 富美子、石川淳哉、安宅一晃、藤谷茂樹、丹正勝久. 集中治療標準化コースからみた集中治療における理学療法士の今後の課題. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.27、京都

藤谷茂樹、藤原紳祐、小池朋孝、森安恵実、児玉貴光、安宅一晃. 新規開発した RRS(Rapid Response System)オンラインレジストリ導入と今後の課題. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.27、京都

藤原紳祐、藤谷茂樹、小池朋孝、森安恵実、児玉貴光、安宅一晃. わが国で RRS(Rapid Response System)を普及させるために必要なデータ・セミナー活動から得られた教訓. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.27、京都

渡邊恵介、橋爪圭司、藤原亜紀、熱田 淳. 糖尿病性中枢神経障害が疑われた 3 症例の治療経験. 第 43 回日本慢性疼痛学会、2014.2.22、横浜

岩下裕一、松本猛志、小西康司、萱島道德、田中麻理、錦 三恵子、川口昌彦. 当院における RST の活動について. 日本医療マネジメント学会第 9 回奈良支部学術集会、2014.2.15、奈良

林 浩伸、重松英樹、小泉宗久、田中康仁、川口昌彦. 脊椎脊髄手術時の末梢神経テタヌス刺激後運動誘発電位モニタリングの検討. 第 35 回脊髄機能診断研究会、2014.2.1、東京

## <座長>

渡邊恵介. 患者の力をひきだす慢性痛治療. 第 22 回奈良痛みの治療研究会、2014.12.6、奈良

四宮敏章. がん患者の精神症状緩和・がん体験後の精神的成長に関する最近の話題を交えて  
-第 3 回奈良県サイコオンコロジー研究会、2014.11.21、奈良

安宅一晃. 成人院内心停止オンラインレジストリのキックオフミーティング. 第 1 回 RRS/  
院内心停止レジストリに関するミーティング、2014.10.28、福岡

安宅一晃. 小児院内心停止オンラインレジストリの紹介. 第 1 回 RRS/院内心停止レジスト  
リに関するミーティング、2014.10.28、福岡

安宅一晃. JCI (国際的医療機能評価機関) 視点の安全な医療一周術期管理を中心に-. 第  
43 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.10.24、奈良

四宮敏章. 在宅緩和ケアと地域連携-情報共有をどのようにすすめるか-. 第 10 回地域医  
療連携懇話会、2014.10.9、奈良

渡邊恵介. 肩・頸部の超音波ガイド下ブロック. 第 5 回神経ブロック手技シンポジウム、  
2014.9.27、大阪

川口昌彦. 大血管手術と運動誘発電位、脳脊髄液ドレナージ. 日本心臓血管麻酔学会第 19  
回学術大会、2014.9.21、大阪

古家 仁. 医学研究のススメ-具体的な事例をとおして-. 日本心臓血管麻酔学会第 19 回  
学術大会、2014.9.21、大阪

川口昌彦、高岡誠司、覚醒下手術の麻酔方法と問題回避. 第 12 回 awake surgery 学会、  
2014.9.11、神奈川

古家 仁、竹村恵史. 予防・救急医療から終末期医療まで. 第 29 回日本医学会総会 2015 関

西、2014.9.7、奈良

井上聡己. 周術期管理. 日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、2014.9.6、大阪

川口昌彦. がんの痛みを科学する. 日本麻酔科学会第 60 回関西支部学術集会、2014.9.6、大阪

川口昌彦. 脊椎脊髄手術における術中脊髄モニタリングのアラームポイント. 第 4 回奈良術中神経モニター講習会、2014.8.23、大阪

古家 仁. 抗てんかん薬の使い方と注意点. 日本ペインクリニック学会第 48 回大会リフレクチャーコース、2014.7.24、東京

安宅一晃. 感染症 2. 第 59 回日本集中治療医学会近畿地方会、2014.7.12、大阪

古家 仁. 超高齢社会を乗り切る漢方の知恵. 第 27 回日本疼痛漢方研究会学術集会、2014.7.5、東京

四宮敏章. がん患者の痛みとこころ. 第 40 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.6.10、奈良

渡邊恵介. 一般演題 V. 第 44 回日本ペインクリニック学会関西支部学術集会、2014.6.7、大阪

川口昌彦. 危機的出血への対応の現状と今後の方向性. 第 39 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.5.30、奈良

川口昌彦. Optimizing outcomes with clinical nutrition therapy in critical illness. 第 41 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.5.27、奈良

安宅一晃. ARDS および間質性肺炎急性増悪の診断と治療. Acute Medical Care Forum、2014.5.21、大阪

川口昌彦. 神経 脳波・誘発電位. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.17、横浜

川口昌彦. 臨床研究のノウハウ：研究デザインと統計手法. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会、2014.5.15、横浜

井上聡己. 日々の診療に活かそう！米国版 ICU 診療の手法. 第 38 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.4.22、奈良

川口昌彦. 虚血性脳障害における迷走神経の役割. 第 18 回日本神経麻酔・集中治療研究会、2014.4.19、沖縄

川口昌彦. 使ってみよう漢方薬. 奈良臨床漢方医学セミナー、2014.4.17、奈良

川口昌彦. 「痛み」の研究・治療の問題点ー星状神経節ブロックの功罪ー. 第 4 回奈良痛みを考える会、2014.3.29、奈良

古家 仁. 周術期管理チームの現状 . 第 37 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.3.25、奈良

古家 仁. 麻酔科医の過去・現在・未来. 第 21 回奈良県医師会麻酔部会学術講演会、2014.3.8、奈良

川口昌彦. 中枢神経・脊髄・末梢神経⑧. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

安宅一晃.RST・NST・RRT など③. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.28、京都

安宅一晃. Rapid Response System(RRS)は日本で医学的根拠を出せるか. 第 41 回日本集中治療医学会学術集会、2014.2.27、京都

川口昌彦. 廃用予防が目的ではない、攻めの急性期リハビリテーション. 第 36 回奈良麻酔集中治療セミナー、2014.1.21、奈良

### <講師>

安宅一晃. 第 43 回セデーショントレーニングコース. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会（日本医学シミュレーション学会共催ワークショップ・セミナー、2014.11.2、東京

安宅一晃. JAMS 教育セミナー MET コース. 日本臨床麻酔学会第 34 回大会（日本医学シミュレーション学会共催ワークショップ・セミナー）、2014.11.2、東京

安宅一晃. 第 43 回セデーショントレーニング指導者育成コース. 日本臨床麻酔学会第 34 回

大会（日本医学シミュレーション学会共催ワークショップ・セミナー）、2014.11.1、東京  
渡邊恵介. 脳脊髄液減少症の診断と治療. 脳脊髄液減少症研修会、2014.3.27、奈良

井上聡己. 呼吸不全の病態生理と輸液管理. 第12回人工呼吸器安全セミナー、2014.3.16、奈良

四宮敏章. サイコオンコロジー – 困難なコミュニケーションに対応するために –.  
大阪市立大学緩和医療研究会、2014.2.19、大阪

田中 優. コクランレビューの書き方、 Risk of bias 評価表、メタ分析、コクランレビュー  
–GRADE Summary of finding table 作成方法. コクラン妊娠出産グループフルレビュー  
ワークショップ、2014.2.5-6、東京

四宮敏章. がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の指導者研修会における講師お  
よびグループワークのファシリテーター. 日本緩和医療学会 PEACE プロジェクト 第24  
回精神腫瘍学の基本教育に関する指導者研修会、2014.2.1-2、大阪